

履修モデル（参考例）

履修登録の参考とするための履修モデルを示します。本履修モデルは、あくまでも参考例であり、課程修了のための最小限の履修単位数を示しています。履修登録上限単位数（年間48単位）の範囲内で積極的に履修してください。

（1）理学療法学科

i 2020年度以降入学生適用

年次	総合基礎科目領域		専門科目領域	
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 情報リテラシー(1) 物理基礎(1) 統計学(2) 人間関係論(1)	基礎演習Ⅱ(1) 基礎数学演習(1) 化学基礎(1) 健康科学論(1)	解剖学Ⅰ(2) 解剖学実習(1) 生理学演習(2) 運動学Ⅱ(2) 病理学(1)	解剖学Ⅱ(2) 生理学(2) 運動学Ⅰ(2) 人間発達学(2)
	英語Ⅰ－1(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択	英語Ⅰ－2(1)	理学療法概論(2) 理学療法演習Ⅰ－2(1)	理学療法演習Ⅰ－1(1) 見学実習(1)
	(この他に選択科目から10単位分の授業科目を選んで履修)		(必要に応じて選択科目を履修)	
2年次	英語Ⅱ－1(1)	英語Ⅱ－2(1)	生理学実習(1) 薬学(1) 臨床医学総論(1) 神経内科学(2) 内科学(2) リハビリテーション医学(1)	運動学実習(1) 栄養学(2) 整形外科(2) 小児科学(1) 精神医学(2) 就労支援サービス(2)
	(必要に応じて選択科目を履修)		運動解剖学(2) 理学療法評価学(2) 理学療法演習Ⅱ－1(1) 運動器系理学療法評価学演習(1) 内部障害系理学療法評価学演習(1) 理学療法治療学(2) 日常生活活動学(2) 地域理学療法学(2) 検査測定実習(1)	臨床運動学(2) 理学療法評価学実習(1) 理学療法演習Ⅱ－2(1) 神経系理学療法評価学演習(1) クリニカルリーズニング(1) 運動療法学(2) 義肢装具学(2) 地域理学療法学実習(1)
	(必要に応じて選択科目を履修)		専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択	
3年次	(必要に応じて選択科目を履修)		理学療法研究法(1) 理学療法演習Ⅲ(1) 神経系理学療法学実習(1) 日常生活活動学実習(1) 物理療法学(2) 予防理学療法学(1)	理学療法管理学(2) 運動器系理学療法学実習(1) 内部障害系理学療法学実習(1) 義肢装具学実習(1) 小児理学療法学(2) 評価実習(6)
	(必要に応じて選択科目を履修)		(この他に選択科目から5単位分の授業科目を選んで履修)	
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)		チーム医療演習(1) 理学療法特論(2)	理学療法演習Ⅳ(1) 総合臨床実習(11)
	(必要に応じて選択科目を履修)		(必要に応じて選択科目を履修)	

※（ ）内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	12単位	1単位	10単位	21単位	—	—	44単位
2年次	2単位	—	—	43単位	1単位	—	46単位
3年次	—	—	—	20単位	—	5単位	25単位
4年次	—	—	—	15単位	—	—	15単位
合計	14単位	1単位	10単位	99単位	1単位	5単位	130単位

ii 2015年度から2019年度入学生適用

年次	総合基礎科目領域		専門科目領域	
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 統計学(2) 心理学(2) 英語Ⅰ－1(1)	基礎演習Ⅱ(1) 生活と物理(2) 健康とリハビリテーション(2) 英語Ⅰ－2(1)	解剖学Ⅰ(2) 生理学(2) 運動学Ⅰ(2) 運動生理学(2) 病理学(2)	解剖学実習(1) 生理学演習(2) 運動学Ⅱ(2) 人間発達学(2) 臨床医学総論(1)
	外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から3単位分の授業科目を選んで履修)		理学療法演習Ⅰ－1(1) 理学療法概論(2) (必要に応じて選択科目を履修)	
2年次	英語Ⅱ－1(1)	英語Ⅱ－2(1) (この他に選択科目から3単位分の授業科目を選んで履修)	解剖学Ⅱ(2) 運動学実習(1) 内科学(2) 小児科学(1) 精神医学Ⅰ(2)	生理学実習(1) 整形外科(2) 神経内科学(2) リハビリテーション医学(1)
			理学療法演習Ⅱ－1(1) 理学療法診断学(2) 理学療法評価学実習(1) 運動解剖学(2)	理学療法演習Ⅱ－2(1) 理学療法評価学(2) 運動療法学(2) 臨床実習Ⅱ(2)
	(選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)		理学療法演習Ⅲ－1(1) 物理療法学(1) 内部障害系理学療法学実習(1) 義肢装具学実習(1) 運動器系理学療法学(2) 神経系理学療法学(2) 日常生活活動学(2) 臨床運動学(2) 高齢者理学療法学(1) 臨床実習Ⅲ(5)	
			理学療法演習Ⅲ－2(1) 内部障害系理学療法学(2) 義肢装具学(2) 理学療法治療学(2) 運動器系理学療法学実習(1) 神経系理学療法学実習(1) 日常生活活動学実習(1) 理学療法マネジメント(1) 地域理学療法学(1)	
			(この他に選択科目から5単位分の授業科目を選んで履修)	
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)		理学療法特論(2) 臨床実習Ⅳ(10)	理学療法演習Ⅳ(1)
			(必要に応じて選択科目を履修)	

※ () 内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域		計
	必修	選択必修	選択	必修	選択	
1年次	12単位	1単位	3単位	23単位	－	39単位
2年次	2単位	－	3単位	27単位	7単位	39単位
3年次	－	－	4単位	30単位	5単位	39単位
4年次	－	－	－	13単位	－	13単位
合計	14単位	1単位	10単位	93単位	12単位	130単位

(2) 作業療法学科

i 2020年度以降入学生適用

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 情報リテラシー(1) 基礎数学演習(1) 物理基礎(1) 化学基礎(1) 統計学(2) 健康科学論(1) 人間関係論(1) 英語Ⅰ－1(1) 英語Ⅰ－2(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から10単位分の授業科目を選んで履修)	解剖学Ⅰ(2) 解剖学Ⅱ(2) 解剖学実習(1) 生理学(2) 生理学演習(2) 運動学Ⅰ(2) 病理学(1) 作業療法概論(2) 基礎作業学(2) 作業療法評価学(2) 臨床実習Ⅰ(見学実習)(1) (必要に応じて選択科目を履修)
2年次	英語Ⅱ－1(1) 英語Ⅱ－2(1) (必要に応じて選択科目を履修)	生理学実習(1) 運動学Ⅱ(2) 運動学実習(1) 人間発達学(2) 薬学(1) 栄養学(2) 臨床医学総論(1) 整形外科学(2) 神経内科学(2) 小児科学(1) 内科学(2) 精神医学(2) リハビリテーション医学(1) 就労支援サービス(2) 神経心理学(2) 専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択 作業療法演習Ⅰ-1(1) 研究法概論(1) 身体作業療法評価学演習(2) 精神作業療法評価学演習(2) 発達作業療法評価学演習(1) 日常生活評価学演習(1) 作業療法演習Ⅰ-2(1) 身体障害作業療法治療学(2) 精神障害作業療法治療学(2) (必要に応じて選択科目を履修)
3年次	(必要に応じて選択科目を履修)	基礎作業学演習(1) 作業療法管理学(2) 老年期作業療法学(2) 発達障害作業療法治療学演習(1) 高次脳機能障害治療学(2) 身体障害作業療法治療学演習(2) 精神障害作業療法治療学演習(2) 日常生活活動学演習(1) 作業療法演習Ⅱ-1(1) 作業療法演習Ⅱ-2(1) 義肢装具学(2) 地域生活支援学(2) 地域作業療法学(2) 臨床実習Ⅱ(地域実習)(1) 臨床実習Ⅲ(評価実習)(5) (この他に選択科目から1単位分の授業科目を選んで履修)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	チーム医療演習(1) 作業療法学特論(1) 臨床実習Ⅳ(総合実習)(9) 臨床実習Ⅴ(総合実習)(9) (必要に応じて選択科目を履修)

※ () 内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目			専門科目			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	12 単位	1 単位	10 単位	19 単位	—	—	42 単位
2年次	2 単位	—	—	37 単位	1 単位	—	40 単位
3年次	—	—	—	27 単位	—	1 単位	28 単位
4年次	—	—	—	20 単位	—	—	20 単位
合計	14 単位	1 単位	10 単位	103 単位	1 単位	1 単位	130 単位

ii 2016年度から2019年度入学生適用

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 統計学(2) 心理学(2) 健康とリハビリテーション(2) 英語Ⅰ－1(1) 英語Ⅰ－2(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から8単位分の授業科目を選んで履修)	解剖学Ⅰ(2) 解剖学Ⅱ(2) 解剖学実習(1) 生理学Ⅰ(2) 生理学Ⅱ(2) 運動学Ⅰ(2) 病理学(2) 臨床医学総論(1) 作業療法概論(2) 基礎作業学実習(2) 作業療法入門実習(1) 作業療法評価学(2) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)
2年次	英語Ⅱ－1(1) 英語Ⅱ－2(1) (必要に応じて選択科目を履修)	生理学実習(1) 運動学Ⅱ(2) 運動学実習(1) 人間発達学(2) 整形外科学(2) 内科学(2) 神経内科学(2) 小児科学(1) 高次脳機能学(2) リハビリテーション医学(1) 精神医学Ⅰ(2) 精神医学Ⅱ(2) 身体作業療法評価学演習(2) 精神作業療法評価学演習(1) 老年作業療法評価学演習(1) 発達作業療法評価学演習(1) 身体障害作業療法治療学(2) 精神障害作業療法治療学(2) 義肢装具学(2) 作業療法演習Ⅰ-1(1) 作業療法演習Ⅰ-2(1) (この他に選択科目から3単位分の授業科目を選んで履修)
3年次	(選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	基礎作業学演習(1) 老年期障害作業療法治療学(2) 発達障害作業療法治療学(2) 高次脳機能障害治療学(2) 身体障害作業療法治療学演習(2) 精神障害作業療法治療学演習(1) 義肢装具学演習(1) 日常生活活動学演習(2) 職業関連活動学(1) 生活環境学演習(1) 地域作業療法学(2) 作業療法演習Ⅱ-1(1) 作業療法演習Ⅱ-2(1) 臨床実習Ⅰ(評価実習)(6) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	作業療法演習Ⅲ(1) 臨床実習Ⅱ(総合実習)(8) 臨床実習Ⅲ(総合実習)(8) 作業療法学特論(2) (必要に応じて選択科目を履修)

※ () 内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目			専門科目		計
	必修	選択必修	選択	必修	選択	
1年次	10 単位	1 単位	8 単位	21 単位	2 単位	42 単位
2年次	2 単位	—	—	33 単位	3 単位	38 単位
3年次	—	—	4 単位	25 単位	2 単位	31 単位
4年次	—	—	—	19 単位	—	19 単位
合計	12 単位	1 単位	12 単位	98 単位	7 単位	130 単位

iii 2014年度入学生適用

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 統計学(2) 心理学(2) 健康とリハビリテーション(2) 英語Ⅰ－1(1) 英語Ⅰ－2(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から8単位分の授業科目を選んで履修)	解剖学Ⅰ(2) 解剖学実習(1) 生理学(2) 生理学演習(2) 運動学Ⅰ(2) 人間発達学(2) 病理学(2) 臨床医学総論(1) 作業療法概論(2) 基礎作業学実習Ⅰ(2) 作業療法入門実習(1) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)
2年次	英語Ⅱ－1(1) 英語Ⅱ－2(1) (必要に応じて選択科目を履修)	解剖学Ⅱ(2) 生理学実習(1) 運動学Ⅱ(2) 運動学実習(1) 整形外科学(2) 内科学(2) 神経内科学(2) 小児科学(1) リハビリテーション医学(1) 精神医学Ⅰ(2) 精神医学Ⅱ(2) 神経心理学(2) 評価学概論(1) 身体構造機能評価学演習(1) 精神高次脳機能評価学(1) 生活動作活動評価学(1) 心理社会的機能評価学(1) 発達機能評価学(1) 身体障害作業療法治療学Ⅰ(2) 精神障害作業療法治療学Ⅰ(2) 老年障害作業療法治療学Ⅰ(2) 発達障害作業療法治療学Ⅰ(2) 作業療法治療学演習Ⅰ(1) 生活環境評価学(2) 臨床実習Ⅰ(4) (必要に応じて選択科目を履修)
3年次	(選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	基礎作業学実習Ⅱ(1) 義肢装具学(2) 作業療法治療学演習Ⅱ(2) 地域作業療法学(2) 専門科目群中、選択必修科目から8単位分の授業科目を選択 (この他に選択科目から8単位分の授業科目を選んで履修)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	作業療法治療学演習Ⅲ(2) 臨床実習Ⅱ(8) 臨床実習Ⅲ(8) 作業療法学特論(2) (必要に応じて選択科目を履修)

※ () 内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	10 単位	1 単位	8 単位	19 単位	—	2 単位	40 単位
2年次	2 単位	—	—	41 単位	—	—	43 単位
3年次	—	—	4 単位	7 単位	8 単位	8 単位	27 単位
4年次	—	—	—	20 単位	—	—	20 単位
合計	12 単位	1 単位	12 単位	87 単位	8 単位	10 単位	130 単位

(3) 福祉心理学科

i 2020年度以降入学生／2020年度1年次転学科生適用

① 社会福祉関係（2020年度以降入学生／2020年度1年次転学科生適用）

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 情報リテラシー(1) 心理学(2) 健康科学論(1) 発達心理学(2) 人間関係論(1) 英語Ⅰ－1(1) 英語Ⅰ－2(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から7単位分の授業科目を選んで履修)	現代社会と福祉Ⅰ(2) 社会理論と社会システム(2) 社会保障論Ⅰ(2) 現代社会と福祉Ⅱ(2) 児童福祉(2) 社会調査の基礎(2) 相談援助の基盤と専門職Ⅰ(2) 相談援助の基盤と専門職Ⅱ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2)
2年次	英語Ⅱ－1(1) 英語Ⅱ－2(1) (この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	就労支援サービス(2) 高齢者福祉(2) 介護福祉(2) 障害者福祉(2) 保健医療サービス(2) 公的扶助(2) 相談援助の理論と方法Ⅰ(2) 相談援助の理論と方法Ⅱ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅰ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅱ(2) 相談援助演習Ⅰ(2) 相談援助演習Ⅱ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅰ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅱ(2) 専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から5単位分の授業科目を選んで履修)
3年次	(必要に応じて選択科目を履修)	社会保障論Ⅱ(2) 権利擁護と成年後見制度(2) 更生保護制度(1) 福祉行財政と福祉計画(2) 福祉サービスの組織と経営(2) 相談援助の理論と方法Ⅲ(2) 相談援助の理論と方法Ⅳ(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から23単位分の授業科目を選んで履修) ※社会福祉士国家試験受験を目指すためには 下記選択科目を履修する必要があります。 ・相談援助演習Ⅲ(2) ・相談援助演習Ⅳ(2) ・相談援助実習指導Ⅰ(2) ・相談援助実習指導Ⅱ(2) ・相談援助実習(6)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	チーム医療演習(1) 福祉心理学専門演習Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2) (この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修) ※社会福祉士国家試験受験を目指すためには 下記選択科目を履修する必要があります。 ・相談援助演習Ⅴ(2) ・相談援助実習指導Ⅲ(2) ・相談援助実習(6)

※ () 内の数字は単位数を表す。

※ 社会福祉士と同時に精神保健福祉士の受験資格を目指す場合は、P91・93に示す授業科目を履修し単位を修得する必要があります。

※ 転学科生については、転学科年次により各自の修得科目及び単位に応じて適宜履修してください。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	11単位	1単位	7単位	18単位	—	4単位	41単位
2年次	2単位	—	4単位	28単位	1単位	5単位	40単位
3年次	—	—	—	17単位	—	23単位	40単位
4年次	—	—	—	5単位	—	4単位	9単位
合計	13単位	1単位	11単位	68単位	1単位	36単位	130単位

② 精神保健福祉関係（2020年度以降入学生／2020年度1年次転学科生適用）

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 情報リテラシー(1) 健康科学論(1) 人間関係論(1) 英語Ⅰ－1(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から10単位分の授業科目を選んで履修)	基礎演習Ⅱ(1) 心理学(2) 発達心理学(2) 英語Ⅰ－2(1)	現代社会と福祉Ⅰ(2) 社会保障論Ⅰ(2) 現代社会と福祉Ⅱ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2)	社会理論と社会システム(2)			
2年次	英語Ⅱ－1(1) (この他に選択科目から1単位分の授業科目を選んで履修)	英語Ⅱ－2(1)	精神疾患とその治療Ⅰ(2) 就労支援サービス(2) 精神保健の課題と支援Ⅱ(2) 専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択 保健医療サービス(2) 権利擁護と成年後見制度(2) 地域福祉の理論と方法Ⅱ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅰ(2)	精神疾患とその治療Ⅱ(2) 精神保健の課題と支援Ⅰ(2) 障害者福祉(2) 公的扶助(2) 地域福祉の理論と方法Ⅰ(2) 精神保健福祉相談援助の基盤Ⅰ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅱ(2)	(この他に選択科目から5単位分の授業科目を選んで履修)		
3年次	(必要に応じて選択科目を履修)			社会保障論Ⅱ(2) 精神保健福祉相談援助の基盤Ⅱ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ(2) 精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ(2) 精神保健福祉援助演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から18単位分の授業科目を選んで履修)	福祉行財政と福祉計画(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ(2) 精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ(2) 精神障害者の生活支援システム(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2)	※精神保健福祉士国家試験受験を目指すためには下記選択科目を履修する必要があります。 ・精神保健福祉援助実習指導Ⅰ(2)	
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)			チーム医療演習(1) 精神保健福祉援助演習Ⅱ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)	福祉心理学専門演習Ⅲ(2)	※精神保健福祉士国家試験受験を目指すためには下記選択科目を履修する必要があります。 ・精神保健福祉援助演習Ⅲ(2) ・精神保健福祉援助実習指導Ⅱ(2) ・精神保健福祉援助実習指導Ⅲ(2) ・精神保健福祉援助実習(8)	

※ () 内の数字は単位数を表す。

※ 精神保健福祉士と同時に社会福祉士の受験資格を目指す場合は、P91・93に示す授業科目を履修し単位を修得する必要があります。

※ 転学科生については、転学科年次により各自の修得科目・単位に応じて適宜履修してください。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	11 単位	1 単位	10 単位	10 単位	—	8 単位	40 単位
2年次	2 単位	—	1 単位	32 単位	1 単位	5 単位	41 単位
3年次	—	—	—	22 単位	—	18 単位	40 単位
4年次	—	—	—	7 単位	—	2 単位	9 単位
合計	13 単位	1 単位	11 単位	71 単位	1 単位	33 単位	130 単位

③ 発達臨床心理関係（2020年度以降入学生／2020年度1年次転学科生適用）

年次	総合基礎科目領域		専門科目領域	
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 情報リテラシー(1) 健康科学論(1) 人間関係論(1)	基礎演習Ⅱ(1) 心理学(2) 発達心理学(2)	現代社会と福祉Ⅰ(2) 現代社会と福祉Ⅱ(2) 心理データ解析(2)	社会保障論Ⅰ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2) 心理データ解析Ⅱ(2)
	英語Ⅰ－1(1)	英語Ⅰ－2(1)	外国人科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から7単位分の授業科目を選んで履修)	
2年次	英語Ⅱ－1(1)	英語Ⅱ－2(1)	精神疾患とその治療Ⅰ(2) 精神保健の課題と支援Ⅰ(2) 臨床心理学(2)	精神疾患とその治療Ⅱ(2) 精神保健の課題と支援Ⅱ(2) 神経心理学(2)
	(この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)		専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択 心理アセスメント法(2) 臨床発達心理学(2) 福祉心理学基盤演習Ⅱ(2)	
3年次	(必要に応じて選択科目を履修)		心理アセスメント法Ⅱ(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2)	心理療法(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2)
			(この他に選択科目から32単位分の授業科目を選んで履修)	
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)		チーム医療演習(1) 福祉心理学専門演習Ⅲ(2)	福祉心理学専門演習Ⅳ(2)
			(この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	

※（ ）内の数字は単位数を表す。

※ 転学科生については、転学科年次により各自の修得科目・単位に応じて適宜履修してください。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	11 単位	1 単位	7 単位	12 単位	—	9 単位	40 単位
2年次	2 単位	—	4 単位	22 単位	1 単位	12 単位	41 単位
3年次	—	—	—	8 単位	—	32 単位	40 単位
4年次	—	—	—	5 単位	—	4 単位	9 単位
合計	13 単位	1 単位	11 単位	47 単位	1 単位	57 単位	130 単位

ii 2016年度から2019年度入学生・転学科生・編入学生／2020年度2, 3, 4年次転学科生適用

① 社会福祉関係 (2016年度から2019年度入学生・1, 2年次転学科生／2020年度2年次転学科生適用)

年次	総合基礎科目領域		専門科目領域	
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 心理学(2) 発達心理学(2)	基礎演習Ⅱ(1) 健康とリハビリテーション(2)	社会理論と社会システム(2) 現代社会と福祉Ⅰ(2)	社会保障論Ⅰ(2) 心理学理論と心理的支援(2)
	英語Ⅰ－1(1)	英語Ⅰ－2(1)	現代社会と福祉Ⅱ(2) 社会調査の基礎(2) 相談援助の基盤と専門職Ⅱ(2)	児童福祉(2) 相談援助の基盤と専門職Ⅰ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2)
2年次	外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から6単位分の授業科目を選んで履修)		(この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)	
	英語Ⅱ－1(1)	英語Ⅱ－2(1)	高齢者福祉(2) 障害者福祉(2)	介護福祉(2)
3年次	(この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)		(この他に選択科目から10単位分の授業科目を選んで履修)	
	(選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)		保健医療サービス(2) 相談援助の理論と方法Ⅰ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅰ(2) 相談援助演習Ⅰ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅰ(2)	公的扶助(2) 相談援助の理論と方法Ⅱ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅱ(2) 相談援助演習Ⅱ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅱ(2)
4年次	(この他に選択科目から21単位分の授業科目を選んで履修)		(この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	
	(必要に応じて選択科目を履修)		社会保障論Ⅱ(2) 就労支援サービス(1) 福祉行財政と福祉計画(2) 相談援助の理論と方法Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2)	権利擁護と成年後見制度(2) 更生保護制度(1) 福祉サービスの組織と経営(2) 相談援助の理論と方法Ⅳ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)		福祉心理学専門演習Ⅲ(2)	福祉心理学専門演習Ⅳ(2)
	(必要に応じて選択科目を履修)		(この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)		(この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	
	(必要に応じて選択科目を履修)		※社会福祉士国家試験受験を目指すためには 下記選択科目を履修する必要がある。 ・相談援助演習Ⅲ(2) ・相談援助演習Ⅳ(2) ・相談援助実習指導Ⅰ(2) ・相談援助実習指導Ⅱ(2) ・相談援助実習(6)	
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)		福祉心理学専門演習Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2)	
	(必要に応じて選択科目を履修)		※社会福祉士国家試験受験を目指すためには 下記選択科目を履修する必要がある。 ・相談援助演習Ⅴ(2) ・相談援助実習指導Ⅲ(2) ・相談援助実習(6)	

※ () 内の数字は単位数を表す。

※ 社会福祉士と同時に精神保健福祉士の受験資格を目指す場合は、P92・94に示す授業科目を履修し単位を修得する必要があります。

※ 転学科生については、転学科年次により各自の修得科目及び単位に応じて適宜履修してください。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域		計
	必修	選択必修	選択	必修	選択	
1年次	10単位	1単位	6単位	22単位	2単位	41単位
2年次	2単位	—	2単位	26単位	10単位	40単位
3年次	—	—	4単位	16単位	21単位	41単位
4年次	—	—	—	4単位	4単位	8単位
合計	12単位	1単位	12単位	68単位	37単位	130単位

② 社会福祉関係 (2016年度から2019年度3, 4年次転学科生/2020年度3, 4年次転学科生適用)

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 心理学(2) 健康とリハビリテーション(2) 発達心理学(2) 英語Ⅰ－1(1) 英語Ⅰ－2(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から6単位分の授業科目を選んで履修)	社会理論と社会システム(2) 社会保障論Ⅰ(2) 現代社会と福祉Ⅰ(2) 心理学理論と心理的支援(2) 現代社会と福祉Ⅱ(2) 児童福祉(2) 社会調査の基礎(2) 相談援助の基盤と専門職Ⅰ(2) 相談援助の基盤と専門職Ⅱ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)
2年次	英語Ⅱ－1(1) 英語Ⅱ－2(1) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)	高齢者福祉(2) 介護福祉(2) 障害者福祉(2) 保健医療サービス(2) 公的扶助(2) 相談援助の理論と方法Ⅰ(2) 相談援助の理論と方法Ⅱ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅰ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅱ(2) 相談援助演習Ⅰ(2) 相談援助演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から14単位分の授業科目を選んで履修)
3年次	(選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	社会保障論Ⅱ(2) 権利擁護と成年後見制度(2) 就労支援サービス(1) 更生保護制度(1) 福祉行財政と福祉計画(2) 福祉サービスの組織と経営(2) 相談援助の理論と方法Ⅲ(2) 相談援助の理論と方法Ⅳ(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から21単位分の授業科目を選んで履修) ※社会福祉士国家試験受験を目指すためには 下記選択科目を履修する必要がある。 ・相談援助演習Ⅲ(2) ・相談援助演習Ⅳ(2) ・相談援助実習指導Ⅰ(2) ・相談援助実習指導Ⅱ(2) ・相談援助実習(6)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	福祉心理学専門演習Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2) (この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修) ※社会福祉士国家試験受験を目指すためには 下記選択科目を履修する必要がある。 ・相談援助演習Ⅴ(2) ・相談援助実習指導Ⅲ(2) ・相談援助実習(6)

※ () 内の数字は単位数を表す。

※ 転学科年次により各自の修得科目及び単位に応じて適宜履修してください。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域		計
	必修	選択必修	選択	必修	選択	
1年次	10単位	1単位	6単位	22単位	2単位	41単位
2年次	2単位	—	2単位	22単位	14単位	40単位
3年次	—	—	4単位	16単位	21単位	41単位
4年次	—	—	—	4単位	4単位	8単位
合計	12単位	1単位	12単位	64単位	41単位	130単位

③ 社会福祉関係（2016年度から2019年度編入学生適用）

※単位認定において総合基礎科目領域18単位、専門科目領域30単位が認められた場合。

	総合基礎科目領域	専門科目領域
3年次	健康とリハビリテーション(2) 発達心理学(2) (この他に選択科目から3単位分の授業科目を選んで履修)	社会理論と社会システム(2) 社会保障論Ⅰ(2) 現代社会と福祉Ⅰ(2) 心理学理論と心理的支援(2) 現代社会と福祉Ⅱ(2) 社会保障論Ⅱ(2) 児童福祉(2) 社会調査の基礎(2) 相談援助の基盤と専門職Ⅰ(2) 相談援助の基盤と専門職Ⅱ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2) 相談援助の理論と方法Ⅰ(2) 相談援助の理論と方法Ⅱ(2) 相談援助演習Ⅰ(2) 相談援助演習Ⅱ(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から7単位分の授業科目を選んで履修) ※社会福祉士国家試験受験を目指すためには 下記選択科目を履修する必要がある。 ・相談援助実習指導Ⅰ(2) ・相談援助実習指導Ⅱ(2) ・相談援助実習(6)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	高齢者福祉(2) 介護福祉(2) 障害者福祉(2) 保健医療サービス(2) 公的扶助(2) 権利擁護と成年後見制度(2) 就労支援サービス(1) 更生保護制度(1) 福祉行財政と福祉計画(2) 福祉サービスの組織と経営(2) 相談援助の理論と方法Ⅲ(2) 相談援助の理論と方法Ⅳ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅰ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅱ(2) 福祉心理学専門演習Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2) (この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修) ※社会福祉士国家試験受験を目指すためには 下記選択科目を履修する必要がある。 ・相談援助演習Ⅲ(2) ・相談援助演習Ⅳ(2) ・相談援助演習Ⅴ(2) ・相談援助実習指導Ⅲ(2) ・相談援助実習(6)

※（ ）内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択	認定	必修	選択	認定	
—	—	—	18単位	—	—	30単位	48単位
3年次	4単位	3単位		34単位	7単位	—	48単位
4年次	—	—		30単位	4単位	—	34単位
合計	4単位	3単位	18単位	64単位	11単位	30単位	130単位

④ 精神保健福祉関係（2016年度から2019年度入学生・1，2年次転学科生/2020年度2年次転学科生適用）

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 心理学(2) 発達心理学(2) 英語Ⅰ－1(1) 英語Ⅰ－2(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から6単位分の授業科目を選んで履修)	社会理論と社会システム(2) 現代社会と福祉Ⅰ(2) 現代社会と福祉Ⅱ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2) 社会保障論Ⅰ(2) 心理学理論と心理的支援(2) (この他に選択科目から9単位分の授業科目を選んで履修)
2年次	英語Ⅱ－1(1) 英語Ⅱ－2(1) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)	精神疾患とその治療Ⅰ(2) 精神疾患とその治療Ⅱ(2) 精神保健の課題と支援Ⅰ(2) 精神保健の課題と支援Ⅱ(2) 障害者福祉(2) 保健医療サービス(2) 公的扶助(2) 権利擁護と成年後見制度(2) 就労支援サービス(1) 地域福祉の理論と方法Ⅰ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅱ(2) 精神保健福祉相談援助の基盤Ⅰ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅰ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から5単位分の授業科目を選んで履修)
3年次	(選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	社会保障論Ⅱ(2) 福祉行財政と福祉計画(2) 精神保健福祉相談援助の基盤Ⅱ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ(2) 精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ(2) 精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ(2) 精神障害者の生活支援システム(2) 精神保健福祉援助演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から18単位分の授業科目を選んで履修) ※精神保健福祉士国家試験受験を目指すためには下記選択科目を履修する必要がある。 ・精神保健福祉援助実習指導Ⅰ(2)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	精神保健福祉援助演習Ⅱ(2) 福祉心理学専門演習Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修) ※精神保健福祉士国家試験受験を目指すためには下記選択科目を履修する必要がある。 ・精神保健福祉援助演習Ⅲ(2) ・精神保健福祉援助実習指導Ⅱ(2) ・精神保健福祉援助実習指導Ⅲ(2) ・精神保健福祉援助実習(8)

※ () 内の数字は単位数を表す。

※ 精神保健福祉士と同時に社会福祉士の受験資格を目指す場合は、P92・94に示す授業科目を履修し単位を修得する必要があります。

※ 転学科生については、転学科年次により各自の修得科目・単位に応じて適宜履修してください。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域		計
	必修	選択必修	選択	必修	選択	
1年次	10 単位	1 単位	6 単位	14 単位	9 単位	40 単位
2年次	2 単位	—	2 単位	31 単位	5 単位	40 単位
3年次	—	—	4 単位	20 単位	18 単位	42 単位
4年次	—	—	—	6 単位	2 単位	8 単位
合計	12 単位	1 単位	12 単位	71 単位	34 単位	130 単位

⑤ 精神保健福祉関係（2016年度から2019年度3，4年次転学科生／2020年度3，4年次転学科生適用）

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 心理学(2) 発達心理学(2) 英語Ⅰ－1(1) 英語Ⅰ－2(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から6単位分の授業科目を選んで履修)	社会理論と社会システム(2) 現代社会と福祉Ⅰ(2) 現代社会と福祉Ⅱ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2) 社会保障論Ⅰ(2) 心理学理論と心理的支援(2) (この他に選択科目から9単位分の授業科目を選んで履修)
2年次	英語Ⅱ－1(1) 英語Ⅱ－2(1) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)	精神疾患とその治療Ⅰ(2) 精神疾患とその治療Ⅱ(2) 精神保健の課題と支援Ⅰ(2) 精神保健の課題と支援Ⅱ(2) 障害者福祉(2) 保健医療サービス(2) 公的扶助(2) 権利擁護と成年後見制度(2) 就労支援サービス(1) 地域福祉の理論と方法Ⅰ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅱ(2) 精神保健福祉相談援助の基盤Ⅰ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ(2) (この他に選択科目から9単位分の授業科目を選んで履修)
3年次	(選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	社会保障論Ⅱ(2) 福祉行財政と福祉計画(2) 精神保健福祉相談援助の基盤Ⅱ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ(2) 精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ(2) 精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ(2) 精神障害者の生活支援システム(2) 精神保健福祉援助演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から18単位分の授業科目を選んで履修) ※精神保健福祉士国家試験受験を目指すためには下記選択科目を履修する必要がある。 ・精神保健福祉援助実習指導Ⅰ(2)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	精神保健福祉援助演習Ⅱ(2) 福祉心理学専門演習Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修) ※精神保健福祉士国家試験受験を目指すためには下記選択科目を履修する必要がある。 ・精神保健福祉援助演習Ⅲ(2) ・精神保健福祉援助実習指導Ⅱ(2) ・精神保健福祉援助実習指導Ⅲ(2) ・精神保健福祉援助実習(8)

※ () 内の数字は単位数を表す。

※ 転学科年次により各自の修得科目・単位に応じて適宜履修してください。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域		計
	必修	選択必修	選択	必修	選択	
1年次	10 単位	1 単位	6 単位	14 単位	9 単位	40 単位
2年次	2 単位	—	2 単位	27 単位	9 単位	40 単位
3年次	—	—	4 単位	20 単位	18 単位	42 単位
4年次	—	—	—	6 単位	2 単位	8 単位
合計	12 単位	1 単位	12 単位	67 単位	38 単位	130 単位

⑥ 精神保健福祉関係（2016年度から2019年度編入学生適用）

※単位認定において総合基礎科目領域18単位、専門科目領域30単位が認められた場合。

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
3年次	健康とリハビリテーション(2) 発達心理学(2) (この他に選択科目から3単位分の授業科目を選んで履修)	精神疾患とその治療Ⅰ(2) 精神疾患とその治療Ⅱ(2) 社会理論と社会システム(2) 社会保障論Ⅰ(2) 現代社会と福祉Ⅰ(2) 精神保健の課題と支援Ⅰ(2) 精神保健の課題と支援Ⅱ(2) 心理学理論と心理的支援(2) 現代社会と福祉Ⅱ(2) 社会保障論Ⅱ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2) 精神保健福祉相談援助の基盤Ⅰ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ(2) 精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ(2) 精神保健福祉援助演習Ⅰ(2) 精神保健福祉援助演習Ⅱ(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修) ※精神保健福祉士国家試験受験を目指すためには下記選択科目を履修する必要がある。 ・精神保健福祉援助実習指導Ⅰ(2) ・精神保健福祉援助実習指導Ⅱ(2)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	障害者福祉(2) 保健医療サービス(2) 公的扶助(2) 権利擁護と成年後見制度(2) 就労支援サービス(2) 福祉行財政と福祉計画(2) 地域福祉の理論と方法Ⅰ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅱ(2) 精神保健福祉相談援助の基盤Ⅱ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ(2) 精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ(2) 精神障害者の生活支援システム(2) 福祉心理学専門演習Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2) (この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修) ※精神保健福祉士国家試験受験を目指すためには下記選択科目を履修する必要がある。 ・精神保健福祉援助演習Ⅲ(2) ・精神保健福祉援助実習指導Ⅲ(2) ・精神保健福祉援助実習(8)

※（ ）内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択	認定	必修	選択	認定	
—	—	—	18 単位	—	—	30 単位	48 単位
3年次	4 単位	3 単位	—	38 単位	4 単位	—	49 単位
4年次	—	—	—	29 単位	4 単位	—	33 単位
合計	4 単位	3 単位	18 単位	67 単位	8 単位	30 単位	130 単位

⑦ 発達臨床心理関係（2016年度から2019年度入学生・1，2年次転学科生/2020年度2年次転学科生適用）

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 心理学(2) 健康とリハビリテーション(2) 発達心理学(2) 英語Ⅰ－1(1) 英語Ⅰ－2(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から6単位分の授業科目を選んで履修)	社会保障論Ⅰ(2) 現代社会と福祉Ⅰ(2) 心理学理論と心理的支援(2) 現代社会と福祉Ⅱ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2) 心理データ解析(2) 心理データ解析Ⅱ(2) (この他に選択科目から9単位分の授業科目を選んで履修)
2年次	英語Ⅱ－1(1) 英語Ⅱ－2(1) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)	精神疾患とその治療Ⅰ(2) 精神疾患とその治療Ⅱ(2) 精神保健の課題と支援Ⅰ(2) 精神保健の課題と支援Ⅱ(2) 児童心理学(2) 神経心理学(2) 心理アセスメント法(2) 心理学基礎実験(2) 生理心理学(2) 臨床発達心理学(2) 福祉心理学基盤演習Ⅰ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から12単位分の授業科目を選んで履修)
3年次	(選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	心理アセスメント法Ⅱ(2) 心理療法(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から30単位分の授業科目を選んで履修)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	福祉心理学専門演習Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2) (この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)

※ () 内の数字は単位数を表す。

※ 転学科生については、転学科年次により各自の修得科目・単位に応じて適宜履修してください。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域		計
	必修	選択必修	選択	必修	選択	
1年次	10 単位	1 単位	6 単位	14 単位	9 単位	40 単位
2年次	2 単位	—	2 単位	24 単位	12 単位	40 単位
3年次	—	—	4 単位	8 単位	30 単位	42 単位
4年次	—	—	—	4 単位	4 単位	8 単位
合計	12 単位	1 単位	12 単位	50 単位	55 単位	130 単位

⑧ 発達臨床心理関係（2016年度から2019年度3，4年次転学科生／2020年度3，4年次転学科生適用）

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 心理学(2) 健康とリハビリテーション(2) 発達心理学(2) 英語Ⅰ－1(1) 英語Ⅰ－2(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から6単位分の授業科目を選んで履修)	社会保障論Ⅰ(2) 現代社会と福祉Ⅰ(2) 心理学理論と心理的支援(2) 現代社会と福祉Ⅱ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2) 心理データ解析(2) 心理データ解析Ⅱ(2)
2年次	英語Ⅱ－1(1) 英語Ⅱ－2(1) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)	精神疾患とその治療Ⅰ(2) 精神疾患とその治療Ⅱ(2) 精神保健の課題と支援Ⅰ(2) 精神保健の課題と支援Ⅱ(2) 児童心理学(2) 神経心理学(2) 心理アセスメント法(2) 心理学基礎実験(2) 生理心理学(2) 臨床発達心理学(2) (この他に選択科目から16単位分の授業科目を選んで履修)
3年次	(選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	心理アセスメント法Ⅱ(2) 心理療法(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から30単位分の授業科目を選んで履修)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	福祉心理学専門演習Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2) (この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)

※ () 内の数字は単位数を表す。

※ 転学科年次により各自の修得科目・単位に応じて適宜履修してください。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域		計
	必修	選択必修	選択	必修	選択	
1年次	10単位	1単位	6単位	14単位	9単位	40単位
2年次	2単位	—	2単位	20単位	16単位	40単位
3年次	—	—	4単位	8単位	30単位	42単位
4年次	—	—	—	4単位	4単位	8単位
合計	12単位	1単位	12単位	46単位	59単位	130単位

⑨ 発達臨床心理関係（2016年度から2019年度編入学生適用）

※単位認定において総合基礎科目領域18単位、専門科目領域30単位が認められた場合。

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
3年次	健康とリハビリテーション(2) 発達心理学(2) (この他に選択科目から3単位分の授業科目を選んで履修)	精神疾患とその治療Ⅰ(2) 精神疾患とその治療Ⅱ(2) 社会保障論Ⅰ(2) 現代社会と福祉Ⅰ(2) 精神保健の課題と支援Ⅰ(2) 精神保健の課題と支援Ⅱ(2) 心理学理論と心理的支援(2) 児童心理学(2) 現代社会と福祉Ⅱ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2) 心理データ解析(2) 心理データ解析Ⅱ(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から10単位分の授業科目を選んで履修)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	神経心理学(2) 心理学基礎実験(2) 心理アセスメント法(2) 心理アセスメント法Ⅱ(2) 生理心理学(2) 臨床発達心理学(2) 心理療法(2) 福祉心理学専門演習Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2) (この他に選択科目から19単位分の授業科目を選んで履修)

※（ ）内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択	認定	必修	選択	認定	
—	—	—	18 単位	—	—	30 単位	48 単位
3年次	4 単位	3 単位		28 単位	10 単位	—	45 単位
4年次	—	—		18 単位	19 単位	—	37 単位
合計	4 単位	3 単位	18 単位	46 単位	29 単位	30 単位	130 単位